

28年間継続している フィリピンでの国際奉仕事業 デイケアセンター保育園建設プロジェクト・4年大学における大学奨学生プロジェクト

和歌山中ロータリークラブ

和歌山中ロータリークラブ(会長 大平 洋和)が継続して取り組んでいる国際奉仕活動について、ご報告申し上げます。(国際奉仕委員会、デイケアセンタープロジェクト推進委員会、中RC育英会)

1. フィリピンにおけるデイケアセンター保育園建設プロジェクト

《概要》

クラブ創立5周年(1990年)から、現在まで28年間継続しており、この間、10箇所のセンターを建設。

- (1) サンペドロ市(マニラ市の南 30km、人口35万人)の貧困地域において、3~4歳の児童を対象に給食サービス、英語の初等教育等を提供しています。
- (2) 1か所で、平均70名の児童を収容しています。現在の収容児童総数は、700名、これまでの卒園生数は、約9,000名になりました。
- (3) 建設総費用は、1か所平均300万円×10か所=3000万円、内、日本側の支援額は、1か所平均150万円、累計で約1500万円になります。



①キュアブセンター
1991年7月建設



②マグサイサイセンター
1995年4月建設



③バゴン・シラング・センター
1997年6月建設



④エルヴィンダ・ヴィレージ・センター
2000年1月建設



⑤サン・ロケ・センター
2001年2月建設



⑥サン・ヴィセンテ・センター
2003年8月建設



⑦ランガム・センター
2008年8月建設



⑧ララム・センター
2012年6月建設



⑨バヤン・バヤナン・センター
2016年2月建設



⑩ランガムPEA-2Aセンター
2018年2月建設

II. フィリピン4年制大学における大学奨学生プロジェクト

(国際奉仕委員会、デイケアセンタープロジェクト推進委員会、中RC育英会)

《概要》

創立20周年の2005年から、現在まで13年間継続し、累計 19名の学生を支援しました。

- (1) 前述のデイケアセンター保育園の最初の卒園生が大学進学年令に達するのを待ち、満を持して、創立20周年の年にプロジェクトをスタートさせました。
- (2) 「デイケアセンター保育園プロジェクト」による各センターの卒園生であり、且つ通常であれば経済的に大学進学が叶わない貧困家庭出身の優秀な子女を、年間1~2名選抜し、マニラ市またはサンペドロ市の4年制大学で勉学出来るよう支援して来ました。
- (3) 2005年以来、累計 19名の学生を支援し、内 4名は、現在在学中です。
- (4) 費用は、1人当たり4年間で、マニラ市の大学で、100万円(対象10名) サンペドロ市の大学で、50万円(対象9名)です。

これまでの日本側支援総額は、1,450万円になります。

III. ロータリアンとしてのやり甲斐と誇り

和歌山中ロータリークラブ同は、「デイケアセンター保育園建設プロジェクト」により、サンペドロ市貧困地域の子供たちの教育環境が大きく改善したこと、

そしてロータリークラブが現地の地域社会から高く評価されていることに奉仕活動の喜びとやり甲斐を感じています。

また、私たちの「4年制大学奨学生プロジェクト」により、恵まれない家庭出身の子女たちが、高等教育のチャンスを掴み、一流の社会人としてフィリピン国内のみならず、国際舞台で活躍していることにロータリアンとしての誇りを感じています。

(追記)

和歌山中ロータリークラブは今、平均年齢73歳で、このままではこのプロジェクトをいつまで継続出来るか危惧しています。ご協力して頂けるクラブがありましたら、是非、ご連絡下さい。一緒に活動して喜びとやり甲斐を感じてみませんか。よろしく願い申し上げます。



フィリピン・デイケアセンター 2018年度 合同卒園式/表彰式